



第一に【心】を鍛えたい

校長 尾崎 淳一

ソフトテニスの指導において、全国中学校大会やインターハイ、国体などで幾度も全国優勝を飾るなど、輝かしい実績のある監督が、とても興味深い「ソフトテニス語録」を残されました。[あ] から [ん] で始まる名言で、技術よりも「心」を育てる重要性を述べています。その幾つかを紹介します。

こ…「心が技術を超える」⇒ ひたむきに努力を続ける心は、技術に勝る。
と…「取れば取れる」⇒ 取ろうとする心が無ければ、ボールは取れない。
ね…「ネットは命取り」⇒ ネットミスは、弱気になってラケットが振れていない証拠である。
は…「話の中に宝あり」⇒ 他人の話をしっかり聴ける選手は強くなる。
ふ…「二人は三人」⇒ ペアが機能すれば、力は三人前になる。
る…「留守を守れるチームが強い」⇒ 監督がいないときほど、集中して練習できるチームは強い。
れ…「礼儀は心」⇒ 表面ではなく、心からの礼が大切である。

今月末の新人戦大会は、頼りになる3年生が抜けた後、初めての大会です。残された時間は僅かですが、【心技体】の言葉どおり、まずは自らの【心】を育て、次に【技】を磨き、最後に戦い抜くための【体】を造り上げてください。「心が技術を超える」、まさにその通りだと思います。竜北生の活躍を楽しみにしていますよ。「竜北新チーム、Go!!」



現在、『竜北中学校創立50周年記念事業』の準備が、着々と進められています。全校生徒による「ペットボトルキャップアート」の制作、「記念リーフレット」の作成、「横断幕」の設置、「写真展」の写真選定、「特製ポロシャツ」の製作、「体育大会&文化祭特別企画」の考案などです。左は、5月に撮影した「航空写真」のパネルです。竜北生の皆さんの協力により、素敵な作品が完成しました。私はどこにいたかな、と虫眼鏡で探したのですが、どこにもいませんでした。確か出張で不在でした……。さあ、竜北中の50歳、いや50周年を皆で祝いましょう。

最近、ふとした時に、「視線」を感じるがあります。例えばこんな時に……。

① 素敵な母娘の温かい視線

妻と買物中の売り場で、一組の母娘と目が合いました。私服のため竜北生かは分かりません。妻も同業者のため、4人そろってお辞儀をしました。不思議な光景です。

② 自転車少年の謎めいた視線

車で出張の帰り、ノーヘルの爆走自転車少年と擦れ違いました。紺色のジャージでしたが、竜北生とは限りません。ただ、ミラーを覗くと、こちらを振り返る少年の姿が映りました。

③ 少年3人組の意味ありげな視線

混雑するアピタデパートの1階を、ゲームセンターの方向へ早足で進む3人組の少年に出会いました。わずか2m先ですが、後ろ姿から竜北生ではないと判断しました。何度も交互に振り返るので、きっと私を人気俳優の誰かと間違えたのでしょう。よくあることですよ。

アピタデパート知立店は、私のホームデパートですので、よろしくお願いしますね。前期も残り1か月です。ゴールまで力強く駆け抜けましょう。「竜北生、Go!!」

今週は雨予報が続きます。最近「線状降水帯」等により、豪雨も心配されます。自宅周辺や通学路が危険なときは、無理に登校せず、自宅待機するようお願いいたします。

(令和8年9月8日)